



でんき なに 電気は何からできているの

じてんしゃ はつでんき 自転車の発電機

でんき をつくりだすことをはつでんき といい、でんき をつくるきかい はつでんき の身近なものには、じてんしゃ のライトをつけるはつでんき があります。

じしゃく のなかでこイル(とうせん をうずまきのようにまわしたまわ)が回ると、でんき が起きます。じてんしゃ はつでんき は、じしゃく とこイルからできています。じてんしゃ が止まっているときは、はつでんき のこイルは回っていないので、でんき は、起きません。じてんしゃ が動くと、はつでんき のこイルが回ってでんき が起きます。

でんき は、でんし なが 電気は、電子の流れ

ものは、げんし という、たいへんちい 小さなつぶからできています。げんし は、げんしかく 原子核とまわりにあるいくつかのでんし からできています。このでんし のなかで、じゆう うご 自由に動けるものがあります。これをじゆうでんし といい、

でんき が起きているとき、つまり、でんき なが 電気が流れているときは、じゆうでんし うご 自由電子が動いているからなのです。

かんでんち のプラスきよく とマイナスきよく にまめでんきゆう をつなぐと、じゆうでんし が、マイナスきよく からプラスきよく うご に動きます。このとき、プラスきよく からマイナスきよく にでんき なが 電気が流れます。このじゆうでんし の動きによって、でんき なが 電気が流れます。つまり、でんき は、でんし なが 電子の流れなのです。

(監修・小川 格)

